

NEWS LETTER

発行:2020年7月28日

株式会社 MIS
〒800-0237
北九州市小倉南区中貫2-7-15
TEL093-471-1584

■バージョンアップの件

日医標準レセプトソフト(以降「日レセ」と言います)及び基本ソフトであるLinuxのバージョンアップに昨年末から弊社技術担当が訪問対応させていただいております。日レセもLinuxのバージョンアップも作業には数日かかるので弊社では予め記憶装置に仕込みをしておいて現地ではできないデータのリカバリーや設定等を行うというかなり大変な作業をしています。日レセは2年に1回、Linuxも2年1回なのでほぼ毎年大きな入替えを行ってきました。新規で設置して5年以内なら無償対応させていただいておりますが、PCの法定耐用年数が4年と言うこともあり、5年経過している場合は本体の買換えをお願いしています。ただ、どうしても買換えできない場合は、部品代をいただくようお願いしています。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■オンライン資格確認の準備どうしたら良い?

来年の3月よりマイナンバーカードで受診できるようになります。カードの普及率は約15%とのことですが、今回の給付金をきっかけに増えつつあります。補助があるうちに早めに準備しておく方がお得ではないでしょうか

1. 概要(メリットなど)

患者さんは保険証ではなくマイナンバーカードだけで受診できます。医療機関は、カードを読み取ることで保険情報を取得でき、顔認証で本人確認までできます。さらにレセコンにその情報が自動入力されます。保険の期限切れなどがわかります。本人承諾の上、処方情報も閲覧することが可能となる予定です。(令和3年10月以降)他にも色々とメリットがあります。なお、保険証でも資格確認は可能です。

2. スケジュール

2020年

7月～アカウント登録開始(メールアドレスが必要です)

8月～顔認証付きカードリーダーの申し込み受付開始

10月～MISもしくは代理店に機器類及び設定関係を手配(ご発注)

11月～設置開始

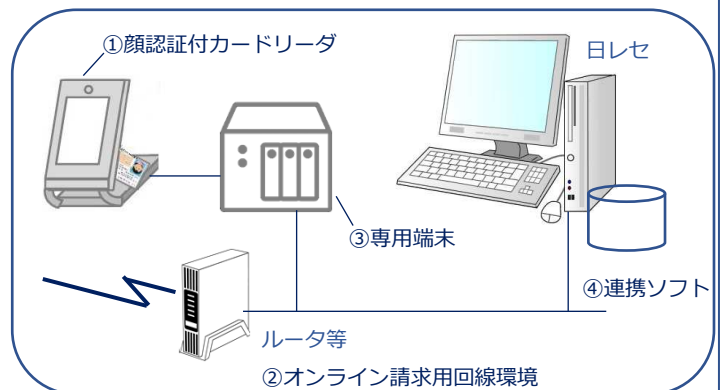
12月～お支払い後、補助金申請
運用テスト

2021年3月～運用開始

3. 準備するもの

- ①顔認証付きカードリーダー → 支払基金が無償配布
- ②オンライン請求用回線環境 → MISで環境構築
- ③オンライン資格確認専用端末 → MISで販売設置設定
- ④レセコン連携ソフト(ORCA連携) → MISで販売設定・操作説明(金額未定)

※③及び④の費用は10月頃に決定予定



4. 補助金

上記図の②から④が補助対象となります。

<診療所の場合>

32.1万円を上限に補助 ※事業額の42.9万円を上限に、その3/4を補助

<病院の場合>

カードリーダーが3台まで無償提供。カードリーダーの台数によって補助額が変わる。例) 1台の場合、105万円を上限に補助。※事業額の210.1万円を上限に、その1/2を補助。

当社のユーザー様には、アカウント登録の時点からフォローさせていただきますので担当営業にご相談ください。

●PR商品

人気No1の予約システム

補助金対象



診療予約・受付管理システム

ドクターキューブ

【特徴】

- スマホ・パソコン・電話 すべて対応
- 順番予約・時間予約・時間枠予約など様々な運用方法
- お客様に合わせてカスタマイズ
- ORCA連携でとても便利

※お見積りはお客様のご要望をお聞きしてからになります。

資料請求及びご意見ご要望は、別紙FAX用紙をご利用ください

お急ぎの場合は・・・24時間365日受付電話 090-4348-1461 清水まで